

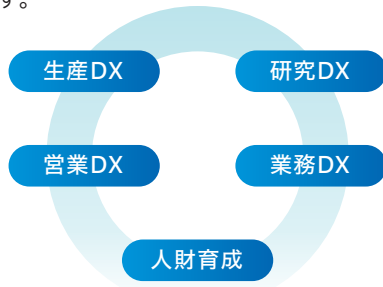
サステナビリティ経営

DX推進

DX推進の取組み

当社は2020年に専門組織を設立し、DXの推進に取り組んでいます。初期段階では、製造業の中核である生産と研究を中心に着実にDXを進めてきました。その結果、マテリアルズインフォマティクス（MI）やAIの活用、自動化の推進などで成果を上げています。

現在は、営業部門や間接部門、さらにデジタル人財の育成にも対象を広げ、各種施策を展開しています。営業部門では、デジタルツールを活用した顧客対応の強化を図り、間接部門においても業務プロセスの自動化や省力化を進めています。また、デジタル人財の育成では、DX推進の基盤となるデジタルスキルの向上を目指しています。今後もデジタル環境の整備と人財育成を通じてDXを推進し、成長と社会価値の創出に努めてまいります。



生産DX

- スマートファクトリー実現

研究DX

- マテリアルズインフォマティクス計算科学による開発促進

営業DX

- デジタルマーケティングによる顧客接点強化

業務DX

- 全社プロジェクトによる業務革新
- 企業変革の推進

人財育成

- デジタルリテラシー向上
- プロ人財の育成

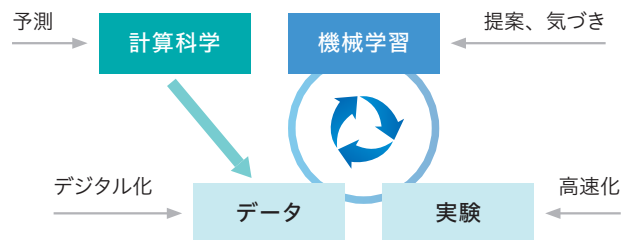
デジタル人財育成

全社員を対象としたスタンダードスキルと各分野のスペシャルスキルに分けたデジタル人財育成プログラムを展開しています。現在はスタンダードスキルの習得を重視し、全社員向けeラーニングを提供してデジタルスキルの底上げを図っています。また、社内ITツール講座や生成AI活用ワークショップを開催し、多くの社員が参加しています。さらに、オープンバッジを利用して学習成果を可視化し、モチベーション向上を促しています。

今後は、各分野のスペシャルスキル教育の構築を進め、専門知識や高度な技術を持つ人財の育成を目指します。

■マテリアルズインフォマティクス

研究開発におけるDX推進の一環として、マテリアルズインフォマティクスを導入しています。機械学習と計算科学を基盤に、自社開発のツールを活用して材料データを解析し、新材料の開発を行っています。これにより、接着剤や電池材料の研究で新たな知見が得られるなど、様々な分野で研究開発の効率化が進んでいます。



■生成AIの活用

業務効率化を目的に社内生成AIシステムの「Chatoa」を導入しました。「Chatoa」は、Chatと社名のtoaを組み合わせた愛称です。現在は社員に広く利用され、アイデア出しや情報確認、ドキュメント作成の支援などで業務効率が向上しました。今後も機能拡充を進め、さらなる生産性向上を目指します。



分類・対象		プログラム
Level 5	スペシャルスキル (部門推進者)	専門分野に特化した デジタル技術教育
Level 4		
Level 3		
Level 2	スタンダードスキル (全社員)	デジタル リテラシー教育
Level 1		